

諏訪地方の経済概況速報

平成25年6月

(平成25年5月末調査)

平成25年6月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 4月】	諏訪公共職業安定所管内	0.68 倍	△0.04 ポイント	
手形交換高【 5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	6,643 枚	△2,207 枚	
	金 額	9,094 百万円	△3,723 百万円	
	うち不渡り	枚 数	10 枚	7 枚
	発生状況	金 額	13,700 千円	11,591 千円
電力使用量【 5月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	53,157 MWh	8.6 %	
	高圧電力計	85,716 MWh	0.3 %	
	合 計	138,873 MWh	3.3 %	
車庫証明取扱件数【 5月】(諏訪地方合計)		947 件	△8.8 %	
新設住宅着工戸数【H25.4月】(諏訪管内)		93 戸	10.7 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

5月の日本経済は、前半に円安、株高が急速に進んだものの、後半には株価が急落し、円相場や長期金利が迷走を始めるなどの変化があった。最終製品より中間材料を手がける下請け企業が多い諏訪地域では、景気の持ち直し感が徐々に広がりつつあるものの、企業によって業況に格差があり、先行き不透明感もあった。課題となっている円安などによる原材料価格の上昇は、コストを製品に転嫁できる企業は限定的で、厳しい状況が続いた。有効求人倍率も全国や全県平均との差が広がり、雇用情勢の改善も見られていない。5月は日照時間が長く、商業や観光業などに影響を与えた。

●製造業 「為替の影響などで業況に格差」

自動車部品関連の下請企業は総体的に受注が増加傾向で、今後の増産や新型部品対応のために設備投資を予定する企業もあるが、親企業の動向や加工内容、生産の海外シフトの影響を受けて収益性に苦慮した企業もあった。金属部品加工は、自動車部品関連を中心に受注が増加した企業が増える一方で、在庫調整の影響を受けた企業もあった。工作機械などの産業設備は、見積みり依頼や引き合いが増え、持ち直しの動きがある反面、原油や部品の値上がりの影響も出た。電気機械関連は回復の兆しがある企業もあるが、スポット的な受注が多く、先行きの見通しに不透明感が残った。精密機械関連は、高品質で技術力がある企業が好調に推移した。一方、食料品製造は円安のマイナスの影響を受け、大豆や小麦、食用油などの輸入品価格の上昇や包装資材、輸送費などのコストが増加しているが、企業間競争が激しく価格転嫁が難しくなっている。

●商業 「価格に対して消費者が敏感に反応」

諏訪地方の5月の天候は、平年より早く梅雨入りしたものの、長野地方气象台統計開始以来、日照時間の長さが1位となった。草花苗関連の園芸用品が好調で、太陽光パネルによる売電収入を伸

ばした事業所もあった。衣料は衣替えに向けた夏物衣料や小物類の売れ行きが好調だった。高額商品の動きは少ないが、商品価格に対して消費者が敏感に反応する傾向が出始めた。価格を据え置き、容量を減少して対応する商品もある。ガソリン価格は下落傾向が続いた。

自動車販売は、諏訪地方の5月の車庫証明件数(軽自動車除く)が947件と、エコカー補助金効果などがあつた前年同月比で91件減少(△8.8%)した。前月比では52件増加(5.8%)している。燃費から安全性へと関心が移る傾向で、高級車への問い合わせが少なくなっている。

●観光・サービス業 「GW 中は天候に恵まれ、高原施設で入り込み増」

上諏訪温泉のGW期間中の宿泊客数は、前後半に分かれた連休の並びなどの影響で昨年と比べ減少したが、平日の東南アジアを中心としたインバウンドの宿泊が好調で、5月総体では前年同月比約90%となった。昨年試行し好評だった「上諏訪温泉朝市」は、民間を主体として継続実施する見込みとなった。蓼科・白樺湖など高原の観光地は、GW期間中は天候に恵まれ、屋外イベントや施設のリニューアル効果などもあって、前年度比で利用者が増加した施設が多い。ただ、平日の売上確保が課題の施設もある。富士見高原は連休、平日とも来場者数、売上が伸びた。諏訪大社の5月の参拝者数は約62千人で、前年同月比約4千人減少(△6.9%)した。

●建設業 「公共工事案件が増加、海外産材の値上がり懸念」

市町村の5月の発注工事は建築工事4件、土木工事・下水道工事38件、その他工事15件の合計57件449百万円で、大規模な学校校舎整備工事があつた前年同月比で件数は2件増加、契約金額は1,391百万円の減少となった。また、県関係の5月の公共工事(地元業者受注分)は14件、431百万円だった。平成25年4月～5月の累計契約は34件1,314百万円で、前年同期累計比で件数は31件、契約金額は1,120百万円(578.7%)増加した。

民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数が93戸と、前年同月比で9戸の増加(10.7%)となった。消費増税前の駆け込み需要等による住宅物件の動きは、企業によって感触が分かれるが、円安による海外産材の値上がりは一様に懸念材料となっている。長野県内の4月の新設住宅着工戸数は980戸で、前年同月比13.4%増加した。

●雇用 「有効求人倍率7ヶ月連続で全県、全国、前年比下回る」

諏訪地域の4月の有効求人倍率は、前年同月比0.04ポイント減少、前月比0.06ポイント減少の0.68倍となった。全国は0.89倍、長野県は0.83倍だった。諏訪地域は昨年10月から7ヶ月連続で全県や全国の水準と、前年同月比を下回り、上昇傾向の全国との差が開いた。新規求人(全数)は1,354人で前年同月比83人増加(6.5%)し、新規求職者数は1,394人で前年同月比41人減少(△2.9%)した。業種別の前年同月比の新規求人数はその他の産業で33%、製造業で25.7%増加したが、他はほぼ横這いか減少した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は198人で前年同月比54人増加、前月より116人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	総体的に低調に推移している。
プリンター	3月にやや上向きの感触を持った企業も再び減少傾向となり、スポット的受注はあるものの、継続的にならない。
コンタクター・リレー	非常用電源装置の受注は低調だが、コンピューター用高速電源切替装置は増加傾向となっている。原料価格高騰の懸念が続いている。

2. 輸送用機械

自動車	受注が旺盛になり先行きまである程度確保できている企業がある反面、マイルドは明るくても実質的な受注につながっていない企業もある。引き続き単価引き下げ要請があり、懸念材料となっている。
ピストンリング・シリンダーライナー	減少していた受注量が持ち直し傾向になっている。海外工場で生産が追いつかない部分の国内生産もある。
船外機	東南アジア、アフリカ、南米向けの2ストロークエンジンが好調。海外生産の品質が劣り、国内生産する面もある。

3. 一般機械

工作機械・専用機	自動車部品関連が堅調で、半導体関連もわずかながら動き出しているが、原油や部品値上がりの影響がある
搬送用機械	医療、食品関係を中心に堅調に推移し、引き合いも増加傾向で、今後も底堅く推移する見通しとなっている。
金型	総体的には低調に推移している。
ダイカスト	加工分野や受注先によって区々。半導体分野に回復傾向が出ている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの4月の生産台数は563万台で前月比7.1%の増加、前年同月比では41.8%の減少となった。4月の出荷台数は国内出荷58万台、海外出荷534万台の合計592万台で、前月比15.6%増加、前年同月比は37.8%減少となっている。 コンパクトデジカメがスマートフォンの普及で需要が減少する状況が続いている。ただ、低迷する市場の中でスマホより優れた機能を持つ高機能機種は堅調となっている。
レンズ	安価な製品は海外主体だが、高品質なものは国内加工が堅調で、一部に旺盛な企業もある。

5. 繊維

ニット

5～7月は端境期。海外シフトが顕著になり、夏物の量産が低調。秋物サンプルは前年より多い傾向となっている。

6. 食品

寒天

GW後半の観光客の入り込みが良く、道の駅などで売上が伸びた。

味噌

大豆を中心とする原材料が高騰し、円安による仕入れ価格上昇の影響が出ている。燃料を重油から天然ガスへ切替えた企業もある。

7. 製材

諏訪地方の4月の木造住宅着工戸数は86戸で、前年同月に比べ14戸の増加だったが、需要は総体的に減少傾向となっている。

8. 建設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所2件、林道治山工事関係3件、農地整備課5件、長野国道事務所等国関係2件、その他土木・建築工事2件の合計14件で、契約金額は431百万円となった。5月の契約は前年度補正予算分が多く、経済対策としての早期発注要因もある。入札案件が増加し、実態が良くなっていると感じる企業が増えている。

市町村の5月の発注工事は、前年同月比で件数は2件増だったものの、契約金額は1,391百万円の大幅減となった。ただ、前年は諏訪市の豊田小学校校舎整備工事の約1,445百万円があり、この要因を除くと前年同月比増となる。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は93戸で、前年同月比では9戸の増加(10.7%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は2戸減少の74戸、「貸家」は10戸増加の10戸、「分譲」は1戸減少の7戸となった。諏訪市で行われた住宅公園イベントは大型連休中からにぎわい、集客行事だけでなく、各社の住宅展示場を見学する人などがあり、住宅建設への意欲の盛り上がりが見られた。

また、長野県内の4月の新設住宅着工戸数は980戸で、前年同月比13.4%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が688戸で15.4%増加、「貸家」は214戸で51.8%増加、「分譲」は74戸で41.7%減少となった。

9. 商業

衣料	4月は天候不良などで不振だったが、5月は反動で肌着などが伸びた。
食料品	米国産牛肉が規制緩和で上質の食材が調達可能となったが、円安の影響で価格が上がるなどマイナスの影響が強い。
家電製品	パソコンは事業所で買い替えの動きがあった。全体的には3、4月の反動で低調だった。
自動車	例年春先は減少時期。今年度は消費増税の駆け込み需要とともに、過去の自動車販売増加期から換算した買い替え時期に入る。
ホームセンター	日照時間が長かったことで、園芸用の草花や野菜の苗、その関連商品が好調だった。

10. 観光

上諏訪温泉	各施設の宿泊客数は70%台～120%台。インターネット利用の個人客に活気がある一方、大手エージェントによる予約が減少。各旅館ともインバウンドの宿泊利用が増加し、受け入れ態勢を強化している。
蓼科・白樺湖・車山等	霧ヶ峰火災は風評被害などの影響は少ないと見られる。GW中は観光客の入り込みが増加し、売上を伸ばした施設が多い。
下諏訪温泉	GW期間は天候に恵まれたほか、まち歩きイベントもあり、前年度より入りこみ客が増加した。八島高原は団体客が増えた。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約62千人。前年同期比では約4千人、6.9%の減少となった。

● 企業からのコメント

- ・ 業況が良い所と悪い所の格差が大きくなっている。月々の受注量も増えたり減ったりで先が見えず、設備投資はできない。(精密部品製造業)
- ・ 短期の量産ものがあり、一時的に売り上げ増だが、依然、短納期小ロット傾向で、増収基調にならない。コストダウン要請も厳しく利幅が減少している(金属部品製造業)
- ・ スマホ1台で電話やデジカメ、スケジュールなど多機能の管理ができるような機能の集約化が進み、製造する「物」の実数が減っている(電気機械部品製造業)
- ・ 日用消耗品など、お値打ち価格を設定して広告すると反応が良い。為替や株、消費増税などの話題で、消費者が値段に対して敏感になった気配がある。(小売業)
- ・ 数年ぶりの明るい兆しが出ているが、地元企業からの受注、引き合いは少ない。(建設業)
- ・ 飲食業は最後に景気回復の恩恵を受ける業種。飲食店の業況が良くなって、初めてアベノミクスが浸透したと言えるが、今はまだそこまで来ていない。(卸売業)